

2011年3月期第1四半期決算 補足資料 個別業績見通し①

(億円)

	2010年度 予想(今回) (A)	2010年度 予想(前回) (B)	増減 (A)-(B)
売上高 (営業収益)	21,500	21,500	-
営業費用	20,300	20,300	-
営業利益	1,200	1,200	-
経常利益	900	900	-
当期純利益	500	500	-

(億円未満切り捨て)

【営業収支の主な増減要因】

(億円)

原子力発電量の減	△ 260
販売電力量の増(燃料費差引後)	+ 50
水力発電量の増	+ 30
諸経費の節減	+ 180
営業収支への影響	-

■主要諸元

項目	2010年度 予想(今回) (A)	2010年度 予想(前回) (B)	増減 (A-B)	変動影響額	
販売電力量 (億kWh)	1,261程度	1,255程度	6程度	1%	50億円
原油CIF価格 (\$/b)	84程度	85程度	△ 1程度	1\$/b	53億円 ※1
為替レート(インターバンク) (円/\$)	94程度	95程度	△ 1程度	1円/\$	63億円
原子力利用率 (%)	63程度	76程度	△ 13程度	1%	20億円 ※2

※1 LNG価格は原油価格の影響を受けることから、影響度合いを考慮して算定しています。

※2 原子力発電単価および火力発電平均単価を基に影響額を算定しています。

(億円)

	2010年度 予想(今回) (A)	2009年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高 (営業収益)	21,500	20,843	660程度
営業費用	20,300	19,043	1,260程度
営業利益	1,200	1,799	△ 600程度
経常利益	900	1,574	△ 670程度
当期純利益	500	1,064	△ 560程度

(億円未満切り捨て)

【営業収支の主な増減要因】

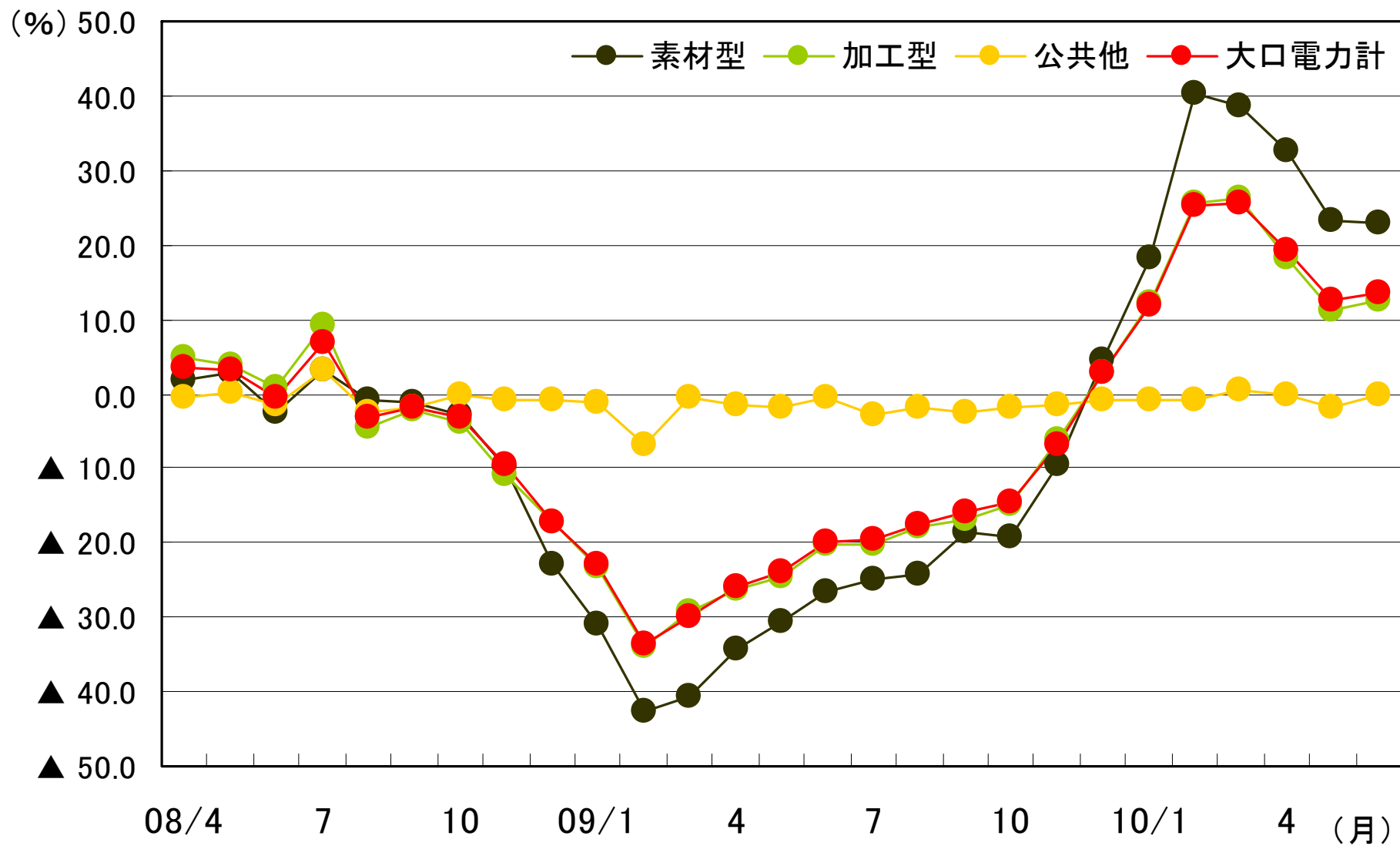
(億円)

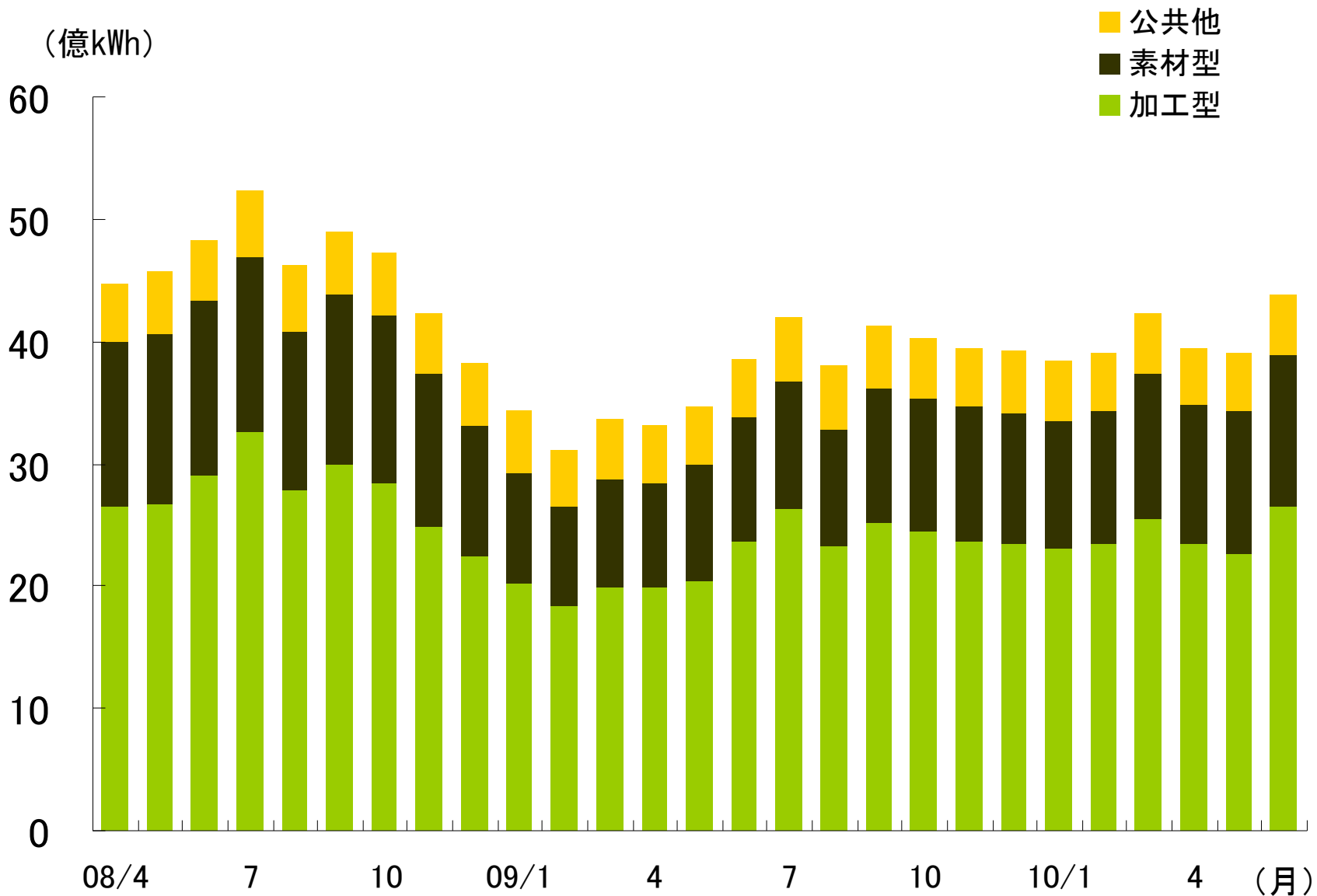
販売電力量の増(燃料費差引後)	+ 320
燃料価格の上昇	△ 1,160
原子力発電量の増	+ 290
人件費の減	+ 110
購入電力料の増 ほか	△ 160
営業収支への影響	△ 600

■ 主要諸元

項目		2010年度 予想(今回) (A)	2009年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
販売電力量	(億kWh)	1,261程度	1,228	33程度
原油CIF価格	(\$/b)	84程度	69.4	15程度
為替レート(インターバンク)	(円/\$)	94程度	93	1程度
原子力利用率	(%)	63程度	46.0	17程度

(対前年同月増加率)





当資料取扱上のご注意

当資料に記載の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの業績見通しは、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。